

令和８年度第２回飯豊町総合教育会議 会議録要旨

令和８年８月２０日午後３時３０分より、町民総合センター研修室において、令和８年度第２回飯豊町総合教育会議を開催した。

会議の結果は次のとおりである。

１．出席者は次のとおりである。

飯豊町長 嵐正人

飯豊町教育委員会

教育長 菅原透、教育長職務代理者 井上俊幸、教育委員 伊藤和憲、

教育委員 田林義則、教育委員 堀江優子

２．会議に出席した事務局職員等は次のとおりである。

教育総務課

課長 横山昌則、教育振興室長 渡部真知子、指導主事 高橋忠路、

教育振興室主査 本間和宏

社会教育課

課長 竹田辰秀、生涯学習振興室主査 木村辰司

総務課

課長 鈴木祐司

３．本会議の次第は次のとおりである。

１ 開会

２ 町長挨拶

３ 協議

（１）こども園乳児部の統合について

（２）将来的なこども園の再編について

（３）その他

４ その他

５ 閉会

４．会議の内容は次のとおりである。

１ 開会：横山課長

２ 町長挨拶：嵐町長

教育委員の皆様におかれましては、町の教育行政にご理解をいただきながら、ご支援をいただいておりますことに感謝を申し上げます。昨日、町議会９月定例会に向けた議会全員協議会があり、菅原教育長から全国学力・学習状況調査の結果を説明

していただきました。多くの意見をいただき、議員の皆さんも子どもたちの教育に関心が高く、学力をしっかりと高めて育ててほしいという思いがあることを感じました。今日の協議はこども園の乳児部の統合と将来的なこども園のあり方であり、教育委員の皆様からご意見をいただきながら、より良い方向に向かっていきたいと思っています。令和14年度の義務教育学校スタートの動きに付随して、こども園も将来に向けた理想の姿、あるべき姿を皆さんと共につくっていかねばと思います。ぜひお知恵をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

3 協議（座長：嵐町長）

（1）こども園乳児部の統合について

（嵐町長）

事務局からの説明後、教育委員の皆さんから意見をいただくものとします。

（横山教育総務課長）

「（1）こども園乳児部の統合について」を説明します。資料1ページをご覧ください。令和9年度から、「わくわくこども園乳児部」を「すくすくこども園」に統合し、乳児部（3歳未満児）の集団規模の確保と保育教諭の適正配置により、乳児保育の質の向上をめざします。令和9年度のすくすくこども園の統合後の園児数の見込みは表に記載のとおりで、令和8年8月1日現在の園児数から推定したものです。また、参考として、1ページの真ん中にある表は本町の出生数の推移と令和8年度の見込みで、今年度の出生数の見込みは13人となっています。次に、乳児部統合により検討しなければならない課題等を列記していますのでご覧ください。必ずしもこの順番が優先順位ではありませんのでご承知ください。2ページに移ります。今後の予定です。今日、決定をいただければ、9月議会定例会に認定こども園設置条例の一部を改正する条例を上程させていただきたいと考えています。なお、前段の教育委員会において、本改正案の承認をいただいたところです。議会で議決いただいた後、保護者をはじめ町民の皆様への周知に努めてまいります。10月から11月にかけては、乳児部統合を反映したかたちで令和9年度の利用園児の募集を行ないます。また3月末までにかけて統合に向けた準備を万全にしていきたいと思います。まだ案ではありますが、3月下旬にわくわくこども園乳児部または旧さゆり保育園としての施設のお別れ会も考えていきたいと思っています。以上であります。ご審議いただきまして、ご決定賜りますようよろしくお願いいたします。

（井上教育長職務代理者）

今まで議論を重ねてきましたが、説明の通りで異論ありません。園児数を見る限り適切な時期だと思います。義務教育学校の開校が決まったことで、それとリンクし幼児教育から一貫してできればいいことだと思っています。ただ兄弟で施設が分かれる場面があると思いますので、そういった保護者の負担、精神的なものも含めて対応と説明をしていただきたいと思います。また、施設が地元から

なくなるということに対して寂しさが当然あるかと思いますので、地元への真摯な対応と利活用の検討を進めてもらいたいと思っています。

(伊藤委員)

私も井上委員と同じです。できるだけ0歳から保育教諭を充実させていただきたいです。縮小することによって小学校との連携もうまく図っていただければいいことではないかなと感じています。

(田林委員)

私も異論ありません。ただ、検討事項に対する問題、課題になるようなことがないか教えていただきたいです。今、伊藤委員からあった職員体制については具体的にどう考えているのでしょうか。予算も関係することかもしれませんが、意見としては前向きに考えてほしいと思います。また、今後の予定の施設のお別れ会ですが、中区協議会や地域として具体的にどう進めていったらいいのか、スケジュールも教えていただきたいと思います。

(堀江委員)

私も同じく異論ありません。検討事項が記載されていますが、対応についてすでに考えられていて、保護者の負担にならないような対応をしてくださるものと思っています。保護者の方も新しいことがあるので不安を感じることもあると思いますので、できることをしっかりと想定して対応していただきたいと思います。また、施設がなくなってしまうということは、非常にさみしいと感じられる方もたくさんいらっしゃると思いますので、利活用を早めに検討していただけると、地元の方も安心して受け入れてくださるのではないかなと思います。

(嵐町長)

事務局からの回答をお願いします。

(横山教育総務課長)

施設がなくなれば地域の活気に影響が出ますし、子どもたちの声が聞こえなくなるというさみしさもあり、地元と園児たちのつながりといったものも考えながら、施設の利活用や今後のあり方を考えていく必要があると思います。ただ、これからの検討になりますので、役場の中で遊休施設利活用検討委員会が立ち上がり、皆さんから様々な意見をいただきながら反映させて、できるだけ早く、施設の利活用を考えていきたいと思っています。また、保護者への対応についても、まだ心配されている方がいらっしゃると思います。一方的な説明ではなく、個別にどういったことが心配でいらっしゃるのか、お子様のケースや家庭の事情で、心配事が異なると 생각합니다。個別相談会のような形で、こども園と一緒に保護者の方のお話を聞いて、できることを考えていきたいと思っています。そのほかにも課題が様々にあるわけでありまして、保護者会の体制や園行事のあり方など具体的なところを進める中で、課題が出てくるかもしれませんので、一つ一つ検証し、準備を進めていきたいと思っています。職員体制につきましては、現時点で具体

的な人数等を申し上げることはできませんが、乳児部統合の狙いであります集団規模の確保と保育教諭の適正配置、そして乳児保育の質の向上を目指すところが達成できる人の配置をしたいと思います。職員配置の検討については慎重にさせていただきたいと思います。次に施設のお別れ会の進め方やスケジュールについては、これまで添川児童センターや手ノ子幼稚園の閉園がありましたので、どのようにされたかを確認しているところです。どのくらいの規模のものにするかで準備とスケジュールが異なると思いますので、もう少し調べる時間をいただきたいと思います。井上委員からありました兄弟で施設がわかれた場合の負担については、特に送迎の部分だと思います。保護者の方には、まずはすくすくこども園に兄弟で送り届けていただき、そこから教育委員会の園バスを使いまして、上のお子様をわくわくこども園までお届けします。降園についても、わくわくこども園のお兄さん、お姉さんをすくすくこども園まで、教育委員会の園バスでお送りしまして、お迎えの時間までそこでお預かりし、保護者の方のお迎えに引き渡しさせていただきたいと考えております。

(嵐町長)

菅原教育長から発言をお願いします。

(菅原教育長)

乳児部の統合については、教育委員の皆様から様々なご指導をいただいた上での、賛成という流れでありますから、ぜひその方向で進めていただければありがたいと思っています。園児の数が少なくなっていますが、子どもを豊かで確かに育てるということについて、町として保障しなければなりません。人数がいっぱいいることによって、豊かな遊びを保障する、それで豊かな育ちをする、子どもたちが育つ、その環境を整えるのが私たちの務めであります。乳児部についてはそれが進むのではないかなと思います。職員の配置についても話があったわけですが、統合にあたっては、ぜひ手厚い保育の質が確保できる、そのような体制を作っていきたいので、善処したいと思います。小学校との連携については、年長さんが入学に向けてのアプローチのカリキュラムと、小学校一年生が入学してからのスタートプログラムのところを併せ持つての架け橋プログラムを意識しながら、連続した育ちを保障していきたいと考えています。飯豊町の場合は幼少中一貫教育グランドデザインがあります。それに基づき、指導者の資質向上も含めて進めてまいります。

(嵐町長)

一点質問です。わくわくこども園乳児部の施設は、耐震性はあるのでしょうか。

(横山教育総務課長)

鉄骨造で耐震性があります。ただ老朽化で雨漏りするなどの状況があります。

(嵐町長)

ほかに委員の皆さんから質問や意見はございませんか。では、「(1) こども園乳児部の統合について」については承認ということよろしいでしょうか。

(全員) 賛成。

(嵐町長)

ありがとうございます。次に「(2) 将来的なこども園の再編について」について協議します。事務局から説明をお願いします。

(横山教育総務課長)

2 ページの表の下にあります「(2) 将来的なこども園の再編について」を方針として、審議いただきたいと思います。読み上げての説明とします。①町内の子どもの出生数がさらに減少していくことを見据えて、こども園の将来的な体制を計画しておく必要があります。②幼児教育の基本である集団での学びを維持するためには、こども園の一園化が望ましく、統合時の施設は、現すくすくこども園を想定します。③一園化の時期については、園児数の状況等を考慮しつつ、義務教育学校「いいでの森学園」開校時期（令和14年度）と連動して判断していくものとします。以上、こども園の再編について、このようなかたちで現すくすくこども園を想定しながら一園化を進めていくということについて、皆様のご決定を賜りたいと思います。よろしくお願いします。

(井上教育長職務代理者)

出生数がさらに減少していくことが基本にあると思いますが、提案のとおりだと思います。安全面において、すくすくこども園は立地条件では周りにいろいろな人の目があって安心できる場所だと思っています。ただ、園児の友達間で別々のこども園に別れることがありますので、本来であれば、こども園1箇所から義務教育学校に続くのが一番いいのかなと思います。最終的に幼小中一貫教育グランドデザインの中で義務教育学校と連動してもらえればありがたいなと思っています。

(伊藤委員)

原則としてすくすくこども園の施設を想定するとしていますが、建物の建築年数から将来を考えると中学校の施設の中に入ってくるというようなことも考えられるかもしれません。幼・小・中を一つにすることも考えてはいかがでしょうか。

(田林委員)

これも教育委員会で話し合ってきたことですので、方向性について異論ありません。ただ、義務教育学校の開校と連動して判断していくものとしていますが、具体的にいつ一園化するのかいうのを早めに決めた方がいいと思います。義務教育学校の開校が令和14年度と決まっているわけですから、目標があっていると思います。人事のことや施設改修など具体的な課題があるとも感じています。

(堀江委員)

異論ありません。義務教育学校と連動するのであれば、計画的に、早めに保護者の方にお知らせした方が、心の準備や心配事の解決、相談につながっていく

のではないかと思いますし、早く決めておけば先々に対応して、いい状態で統合を迎えることもできるのではないかと思います。それが質の高い保育につながっていくのかなと思いました。

(嵐町長)

事務局から回答をお願いします。

(横山教育総務課長)

すくすくこども園の完成年度は平成12年度でありましたので、築26年ということになります。計画的な改修や義務教育学校の開校年度が決まっていることなどから、早期に一園化の時期を決めて進めていくのが大事ではないかというご指摘でした。井上委員からの子どもたちが別れずに持ち上がりで一緒に学校へ入学できたらいいという意見にもつながる話だと思います。事務局では、教育長、町長と協議し、教育委員の皆さんに一園化の時期の案を早く示めせるように努めてまいります。すくすくこども園に必要な改修であります、ホールに設置したエアコンの電気容量をまかなうため、発電機をリースしている状態の解消であったり、照明をLED化することも必要だと考えています。また、園の職員からは西日が差して、手洗い場が暑いという声も聞いています。一つ一つ現場を検証しながら計画的な改修を進めていきます。なお、すくすくこども園に改修の費用を集中することになるかもしれませんが、子どもの安全面では、当面、わくわくこども園の方もきちんと見据えながら対応していきたいと思います。

(嵐町長)

菅原教育長からも発言をお願いします。

(菅原教育長)

委員の皆さんからご賛同いただいております、私もその方向性で進めていければと思います。教育は夢を語る場所でもありますので、現実問題は置いて、夢を語れば、すくすくこども園は築26年で、あと10年すれば36年で、開校時期には6年経過しています。それを考えると幼・小・中が集まった校舎ができた最高だと、もしかしたら誰もが思っているのではないかと思います。現状を考えると、なかなかその考えはおぼつかないわけですが、将来のまたその先を見据えた時に何が今必要なのか、町長とも相談させていただけたらありがたいと思います。一園化の施設については、すくすくこども園としていますが、もっと何かがないのかどうかということについて、探っていきたいと思っています。

(嵐町長)

菅原教育長と伊藤委員から義務教育学校の開校に合わせて幼児施設も一体の形で施設整備が考えられないかという発言がありました。私もそうならば非常にスマートで教育が一箇所に集まった意味のあるものに思います。それも見据えて検討していきたいと思っています。田林委員からは一園化の時期を早めに示すこ

とで、保護者の方も地域の方もいろいろ考えるところがあり、そこから必要な部分が見えてくることがあるので、私も一園化の時期を早く出したいと思います。それでは、「(2) 将来的なこども園の再編について」は、了承してよろしいでしょうか。

(全員) 賛成。

(3) その他 なし

4 その他 なし

5 閉会：横山教育総務課長